

オーラルケア28プロジェクト実施状況一覧

資料4

【乳幼児・学齢期】

番号	取組の方向性	事業名 ※カッコ内はアクションプラン上の標記	開始年度	事業の内容	R4年度実績	R5年度実施状況
1	(I-1) パブリックケアの強化	フッ素うがい導入支援 (保育園・幼稚園における集団介入)	R5	フッ素うがいの導入を希望する保育園・幼稚園等に対する支援。  <リーフレット> <説明会資料より抜粋>	-	・対象施設に概要説明会を実施 ・利用者説明用のリーフレット・動画や、実施マニュアル等を制作 ・実施費用補助制度の設置を準備中
2	(I-1) パブリックケアの強化	歯科保健指導 (小学校での歯磨き指導の拡大)	継続	児童生徒の口腔衛生に関する知識・理解を深め実践的な態度を養うことを目的とし、学校歯科医会、歯科衛生士会の協力のもと、歯科相談検診・歯みがき指導・歯科保健講演会の中から、希望する学校に対して実施を行う。	68校	通年実施中
3	(I-1) パブリックケアの強化	小2集団口腔衛生指導 (小学校での歯磨き指導の拡大)	継続	福岡歯科衛生専門学校、福岡医療短期大学、博多メディカル専門学校の3校により、学生の口腔衛生指導の実習を兼ね、希望する学校の小学2年生に対しむし歯予防、歯みがき指導を行う。	22校	通年実施中
4	(I-2) 知る機会の拡大	放課後児童クラブ等への歯科衛生士派遣 (ラブティース・クリーンアップ大作戦)	R5	市内の放課後児童クラブ及び子ども食堂に案内を送付し、希望施設に歯科衛生士を派遣して口腔に関するクイズやオーラルケアグッズの配布等を行うことで、子どものむし歯予防の意識醸成を図る。  <放課後児童クラブでの実施の様子> <クイズパネル>	-	放課後児童クラブ 49校／3,595名参加 子ども食堂 1箇所／約100名参加
5	(I-3) 楽しみながらの習慣化	ポケモンスマイルではみがき大作戦	R2	市内の小学1年生を対象に、はみがきできたねシールと台紙を配布。歯みがきが上手にできた日は、保護者の方が台紙に1枚シールを貼ってあげ、30枚シールを貼った台紙を実施医療機関に持参すると無料歯科健診とスペシャルステッカーを提供。	・シール及び台紙配布:約15,000枚 ・無料歯科健診受診者数:501名	集計中
6	(I-3) 楽しみながらの習慣化	はみがきグッズワークショップ (魔法の歯ブラシでピカピカ大作戦)	R5	イベント「福岡市民の健康を歯と口から守る集い」において、小学生以下のお子様を対象に、歯ブラシセット(歯ブラシ、歯ブラシケース、コップ)とシールを提供してデコレーションしてもらったうえで、歯科衛生士さんに歯磨きのポイントをレクチャーしてもらったワークショップを開催。  <参加児童の作品>	-	85名参加

オーラルケア28プロジェクト連事業一覧

資料4

【成人期】

番号	取組の方向性	事業名 ※カッコ内はアクションプラン上の表記	開始年度	事業の内容	R4年度実績	R5年度実施状況
7	(Ⅱ-1) 健診受診機会の拡大	歯科節目健診 ※オーラルケア28プロジェクトの一環として、R4.4より自己負担金を700円から500円に減額	R4(ワンコイン化年度)	成人・高齢期の歯周疾患による歯の喪失を予防し、生涯にわたり充実した食生活を確保し、生活の質を高めるため、35、40、50、60、70歳の市民を対象にむし歯・歯周病の診査、歯科保健指導を実施。対象年齢中に1回受診可能。実施医療機関にて随時実施。	2,216人	1,103人(10月末時点)
8	(Ⅱ-1) 健診受診機会の拡大	産婦歯科健診	R3	産後の女性の歯と口腔のケア、及び赤ちゃんの健やかな成長のため、産後1年以内の産婦を対象に、むし歯と歯周疾患予防のための歯科健診を実施する。またその結果に基づき、早期治療の勧奨や適切な保健指導を行う。実施医療機関にて随時実施。  ＜事業ポスター＞	1,742人	1,268人(10末日時点)
9	(Ⅱ-1) 健診受診機会の拡大	デンタルチェック18～20	R4	18～20歳の方に対し、12月末日まで、市内歯科医院での健診を無料提供。受診者にはノベルティとして歯ブラシセットを提供。  ＜事業ポスター＞	1,771人	集計中
10	(Ⅱ-3) 興味・関心の喚起	bitescan®とガムを活用した咀嚼力アッププロジェクト(咀嚼力向上プロジェクト)	R4	㈱ロツテやシャープ(株)、新潟大学、九州大学と連携して、咀嚼測定デバイス“bitescan(バイトスキャン)®”の貸し出しによる咀嚼行動の見える化やガムの活用により、咀嚼習慣の改善を促進。	モニター10家族が事前・事後測定を含む1カ月間デバイスを利用。利用後の咬合力や咀嚼回数の上昇を確認し、結果を市ホームページにて公表。	-
11	(Ⅱ-3) 興味・関心の喚起	ケアメン(男性介護者)の料理教室「噛む」×認知症予防(咀嚼力向上プロジェクト)	R4	咀嚼力低下で要介護リスクが1.5倍になるという分析結果及び、咀嚼による認知症予防のエビデンスに基づき、高齢男性向けに咀嚼力向上の啓発を行うため、男性介護者向けの料理教室において、介護予防・認知症予防と咀嚼の関係のエビデンスの啓発等を実施。	参加者10名	-
12	(Ⅱ-3) 興味・関心の喚起	各種啓発	R3	SNS、啓発グッズ、相性診断Webコンテンツなどのツールを活用し、歯科口腔の健康づくりに関する情報発信を行う。  ＜Webコンテンツ画面＞	18～50代の市民に向け、延べ260万回、歯科口腔保健に関するSNS広告を発信。  ＜配信画面＞	健康・食育パートナーズに登録する市内飲食店のうち、希望する38店舗にデンタルフロス約15,000個を配布。  ＜配布したデンタルフロス＞

オーラルケア28プロジェクト連事業一覧

資料4

【高齢期】

番号	取組の方向性	事業名 ※カッコ内はアクションプラン上の表記	開始年度	事業の内容	R4年度実績	R5年度実施状況
13	(Ⅲ-1) 本人に対する気づきと 学習の場の提供	おいしいオーラルフレイルチェック	R4	アラカン世代を対象としたイベントにブースを出展し、歯科衛生士による咀嚼チェックガムを活用した咀嚼機能の測定、及びよく噛むことや口腔機能向上の啓発を実施。(株)ロッテとの協働事業。   ＜会場の様子＞	測定会参加者:254名	測定会参加者:262名
14	(Ⅲ-1) 本人に対する気づきと 学習の場の提供	フレイル予防教室 (地域で楽しみながらオーラルケア実践)	R5	フレイル予防への意識の醸成および、継続的な取組みにつなげることを目的に各区保健福祉センター等で1クール5回コースの教室を試行的に実施。うち1回を歯科衛生士によるオーラルフレイル予防講話やオーラルフレイルチェック、口腔体操等の内容とし、5回目に再度オーラルフレイルチェックを行い評価。	-	各区、年間4クール程度実施
15	(Ⅲ-1) 本人に対する気づきと 学習の場の提供	薬剤師が勧めるオーラルケア	継続	市内薬局にお口のセルフチェックリスト等を掲載したリーフレットの配布により、地域薬局から歯科受診を促す仕組みづくり。	薬局向けリーフレット配布:750薬局	薬局向けリーフレット配布:750薬局
16	(Ⅲ-2) 医療・介護・福祉等の 専門職への働きかけ	高齢者施設職員向けの動画配信等による 口腔ケアの実践拡大 (高齢者口腔ケア推進事業NEXT)	R3	市内の高齢者福祉施設の職員に向け、口腔ケア実践動画の配信や、マニュアルリーフレットの配布、講習会を開催   ＜配信動画＞ ＜講習会の様子＞	動画再生回数:約2,500回 口腔ケアマニュアル(口腔清掃編)配布: 約2,000施設 多職種向け口腔ケア講習会:76名	動画再生回数:約1,000回(12月中旬時点) 口腔ケアマニュアル(レクリエーション編)配布: 約900施設 多職種向け口腔ケア講習会:集計中